

# 農林漁業のうごき

京都府 No.197 令和7年

## Blue Seafood Guide



おいしく、  
たのしく、  
地球にやさしく。



デジタル版は  
こちら



令和6年11月8日に一般社団法人セイラーズフォーザシー日本支局と包括連携協定を締結（関連記事P.8）

### 内容

特集1	令和7年度 農林水産関係当初予算の概要	2～5
特集2	「京都府農林水産業人材確保育成戦略」を策定しました	6
特集3	「第7次京都府食の安心・安全行動計画」を策定しました	7
特集4	「京都府茶業振興計画」を策定しました	7
特集5	京都の海の持続可能な発展に向けて包括連携協定を締結しました	8
特集6	第2回京のこだわり畜産物レシピコンテストを開催！	8
特集7	京都府林業職1day仕事体験を開催！	9
特集8	全国林業大学校対抗伐木選手権を京都で開催	9
トピックス	ICT技術で鳥獣防護柵の維持管理を省力化 / 府内の農業委員会・農業委員が3年連続で農林水産大臣表彰を受賞 / シンガポールにて「京もの」試食・試飲会を開催しました / 農作物の高温対策を支援しています / 第71回近畿東海北陸連合肉牛共進会で最優秀賞を獲得 / 太平洋くろまぐろの府内漁獲枠の増枠が決定	10～11
シリーズ	第21回 農林水産技術センターの研究紹介 生物資源研究センター / 農林センター	12
地域の取組	京都乙訓地域で農福連携を推進 / 大学生が山城地域の魅力をInstagramで発信！ / 山城地域特産物の高温対策や盗難対策を実施 / 京都丹波地域の「京の田舎ぐらしナビゲーター」が活躍 / ほ場整備事業「下位田地区」の整備工事が完了 / 林業従事者向けICT体験会を開催しました	13～15
シリーズ	府内各地の「いちおしの食」を味わおう！「食の京都 TABLE」～第2回 あやべ特産館～	16

特集  
1

# 令和7年度 農林水産関係当初予算の概要

京都府では、府政運営の羅針盤となる京都府総合計画に基づき、「安心」「温もり」「ゆめ実現」の3つの視点から「あたたかい京都づくり」を実感していただくための予算を編成し、予算規模（当初予算と一体的に編成する令和6年度2月補正予算を含む。）は、一般会計で前年度当初予算比5.6%増の約1兆605億円を計上しました。

農林水産分野においては、「京都府農林水産ビジョン」（令和5年3月改定）の5つの「重点戦略」に関する事業など、希望と活力に満ちた農林水産業と農山漁村を実現するための取組を計画的かつ総合的に推進する予算として一般会計で約238億円を計上しました。

## 【戦略1】フードテックと基盤強化で農林水産業の夢と安心を創造する

### 〈①先端技術の活用による農林水産業の成長産業化〉

#### ■京都フードテック推進事業……………【一部新規 3億8,535万円】

京都の食産業の高付加価値化と競争力強化を図るため、研究機関整備の推進とシーズとニーズのマッチング強化により、京都ならではのフードテック（※）を創出する。

（新規）農林水産技術センター（亀岡市）土壌汚染調査

（新規）京都プレミアム中食オープンイノベーションラボ（宇治市）の整備

（新規）フードテックコーディネーターによるシーズとニーズのマッチング活動

※フードテック：社会課題の解決に資する食分野の最先端技術の総称

#### ■京都みどりの食料システム戦略推進事業……………【一部新規 5億8,575万円】

京都府みどりの食料システム基本計画に基づき、農林漁業・食品産業の持続的発展と食料の安定供給の確保に向け、環境負荷低減事業活動を推進する。

（新規）エネルギー地産地消の実現に向けたバイオマスプラント等の調査、設計、施設整備を支援

### 〈②京都の特長を生かした生産力の強化〉

#### ■集落連携100ha農場づくり事業……………【継続 6,415万円】

複数集落の組織化や農地管理の分離・委託による規模拡大・収益力向上を支援することにより、京野菜などのメガ団地（100ha農場）を形成する営農モデルを構築し、持続可能な地域農業を創出する。

#### ■京都農業経営強化事業……………【継続 1億542万円】

ブランド京野菜など収益性の高い園芸産地を育成するため、園芸用パイプハウスや生産・出荷調整用機器の整備等を支援する。

#### ■藻場づくり推進事業……………【新規 500万円】

藻場の減少に起因する海洋環境の悪化等を防ぐため、地域協議会（府・沿岸市町・漁業者団体等）が行う藻場の保全活動や普及啓発の取組を支援する。

・藻場の現状分析・保全状況等の調査等の支援

・SDGsやブルーシーフード普及啓発、ワークショップ開催支援

### 〈③安心・安全をもたらす基盤づくり〉

#### ■農林水産業基盤整備事業……………【継続 83億6,330万円】

農林水産業のイノベーション実現のため、農地や用排水施設、漁港、林道等の生産基盤整備を推進するとともに、安心・安全な地域社会の実現のため、ため池改修、漁港海岸や治山施設の整備等、農山漁村や森林の防災・減災対策を実施する。

#### ■きょうと「食の安心・安全」確保事業……………【継続 2,436万円】

食品表示の監視や研修会開催などの事業者支援、食に関する情報提供等を実施し、食の安心・安全を確保する。

## 【戦略2】 森林を適正に管理し、林業の発展と豊かな森を実現する

### 〈①木材サプライチェーンの再構築と林業経営の安定化〉

#### ■森林環境譲与税事業……………【一部新規 1億9,078万円】

市町村への技術的支援や職員研修等の充実を図り、市町村が行う森林経営管理の取組を支援する。  
(新規)森林組合、林業事業体、市町村等で構成する協議会が行う、地域で集約化を進める取組を支援

#### ■豊かな森を育てる府民税事業(ひろがる京の木整備事業)……………【継続 1億1,500万円】

府内産木材の利用を促進するため、住宅や商業施設等における需要の拡大に向けた取組を支援する。

#### ■次世代林業を担う林業事業体総合支援事業(経営力向上対策)……………【継続 3億2,307万円】

経営改善に向けた取組の支援や運営経費の貸付等により、持続可能な林業経営の確立を推進する。

### 〈②山地災害の防止・低減のための対策強化〉

#### ■森林災害防止事業(一部豊かな森を育てる府民税活用)……………【継続 31億9,001万円】

危険木伐採、間伐等による森林整備や治山施設の設置等を実施し、森林が有する災害防止機能を高度に発揮させることにより、防災・減災対策を強化する。

#### ■豊かな森を育てる府民税事業(森林防災対策)……………【継続 6億3,500万円】

府民生活の安心・安全を確保する上で、森林の多面的機能が果たしている役割は重要であることから、災害に強い森づくりの推進、再造林の促進支援、森林の魅力を発信するイベントの開催等を実施する。

## 【戦略3】 オープンイノベーションでブランド価値を進化させる

### 〈①京ものブランド戦略の新展開による付加価値の向上〉

#### ■京都フードテック推進事業(再掲)……………【一部新規 3億8,535万円】

国内外における府内産農林水産物・加工品(京もの)の新たなブランド価値を創造・付加し、他産地との優位性を確保するため、産学公連携による研究体制の構築や京もの食品を活用した商品開発・海外販路開拓を支援する。

#### ■「京の米」ブランド力向上対策事業……………【継続 7,068万円】

京都府オリジナルブランド米「京式部」や「京の米」の新たな市場・販路拡大を展開するため、ブランド化を戦略的に進めるとともに、高品質化と知名度向上を推進する。

■宇治茶ブランド世界発信事業……………【継続 2,763万円】

宇治茶の新たな市場・販路拡大を図るため、高品質で市場評価が高い「宇治種」への改植を推進するとともに、宇治茶のプレミアムブランド化や商標対策、茶業振興、世界文化遺産登録に向けた取組を展開する。

■きょうとまるごとお茶の博覧会開催事業……………【新規 400万円】

万博を契機に京都を訪れる人々に京都の茶文化を発信するため、府域のお茶関連イベント等をつなぐスタンプラリーを実施する。

■未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業(京都産水産物生産・流通拡大事業)…【継続 710万円】

トリガイ養殖施設等の生産設備の整備や生産技術の開発等を支援し、府内産水産物の生産・販路を拡大する。

〈②京都ブランドを支える流通の基盤づくり〉

■「食の京都」推進事業……………【継続 4,000万円】

「食の京都」をキーワードに、地域のいちおし食材を活用した地域の魅力向上や、消費地での認知度向上を図り、「食」を目的とした周遊観光を促進する。

■きょうと食いく先生活動拡大・強化事業……………【継続 856万円】

学校・保育所・地域等での体験型食育を強化し、地域や府民の食育を推進するため、「きょうと食いく先生」の派遣や地域の食育活動の支援、若い世代を対象とした食育出前講座等を実施する。

【戦略4】人づくりの裾野を広げ、産業・地域を支える多様な人材を育む

〈①意欲ある経営者の育成・支援体制の確立〉

■農林水産業人材確保育成戦略事業……………【新規 1,998万円】

農林水産業の成長産業化を牽引する高度な専門人材と地域を支える多様な担い手を確保するため、「農林水産業人材育成センター」を司令塔とし、分野横断で誘導から定着・経営発展までを一貫して支援する。

■京都農人材育成強化事業……………【継続 4億7,588万円】

相談から就農までをワンストップで一貫してサポートするとともに、京の農業応援隊(農業改良普及センターなど)による技術研修等の伴走支援に加え、発展段階に応じた経営研修を一体的に実施する。

■京都畜産未来の担い手づくり事業……………【継続 321万円】

畜産の担い手を確保し、後継者の育成を推進するため、畜産法人等への就業者や新規就農希望者に対する研修等を実施する。

■未来へ羽ばたく京都の漁業を育てる事業……………【継続 1,592万円】

持続可能な漁業のため、府内産水産物の生産・流通拡大、次世代の担い手育成により漁業・漁村を活性化する。

■次世代林業を担う林業事業体総合支援事業……………【継続 4億1,227万円】

生産性向上と府内の素材生産量の増加により、林業の成長産業化と適切な森林管理を両立させるため、府内の林業を担う林業事業体の経営をソフト・ハードの両面から総合的に支援する。

### ■農林水産業経営基盤強化事業……………【新規 3億2,500万円】

経営が厳しい状況にある農林水産業等に対し、経営基盤強化に資する取組をソフトとハードの両面から支援を実施する。

- ・農作物の高温対策技術の実証や魚類の行動生態等に係る調査・分析を行い、府内農林水産業者に情報提供
- ・経営基盤強化に資する設備導入を支援

## 〈②農林水産業・農山漁村を支える人材の裾野拡大〉

### ■農林水産業人材確保育成戦略事業(再掲)……………【新規 1,998万円】

農林水産業の成長産業化を牽引する高度な専門人材と地域を支える多様な担い手を確保するため、「農林水産業人材育成センター」を司令塔とし、分野横断で誘導から定着・経営発展までを一貫して支援する。

### ■農林水産業労働力確保対策事業……………【一部新規 1,000万円】

農林水産業の枠にとられない多様な担い手の確保・雇用を促進する。  
(新規)各振興局、農業改良普及センター等による研修会等の開催

### ■京都モデルフォレスト推進事業……………【継続 480万円】

森林所有者、ボランティア団体、企業等が連携した府民参画、府民協働による森づくりを推進する。

## 【戦略5】人と資源の活用で、持続可能な農山漁村コミュニティを創る

### 〈①持続的で活力に満ちた地域づくり〉

### ■京のむらづくり推進事業……………【継続 1億3,320万円】

中山間地域における地域運営体制の構築を伴走支援し、地域共同活動の合理化と、その余力で新たな事業の創出を図ることにより、持続可能な地域づくりを推進する。

### ■有害鳥獣総合対策事業……………【一部新規 9億5,950万円】

ツキノワグマによる被害を防止するための総合的な対策を実施するとともに、二ホンジカの捕獲強化等により農作物被害対策を推進する。

(新規)ツキノワグマ出没抑止のための放置果樹伐採、被害防止のための捕獲、現場対応を担う人材育成

### ■日本型直接支払事業……………【継続 14億9,885万円】

国の日本型直接支払制度等を活用し、地域の共同活動や中山間地域における農業生産活動等を支援し、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を推進する。

### ■「移住するなら京都」推進事業……………【継続 2億9,507万円】

「京都府移住の促進及び移住者等の活躍の推進に関する条例」に基づき、移住から定住に至るまでの各段階に応じた支援により、農山漁村地域の活性化を推進する。

## 〈②地域の独自性や多様性を生かしたビジネスの展開〉

### ■内水面漁観連携推進事業……………【継続 1,400万円】

内水面が有する多面的機能の増進を図るため、異業種との連携等により自然に触れ合う機会を創出するなど、新たな地域振興の取組を支援する。

特集  
2

# 「京都府農林水産業人材確保育成戦略」を策定しました

京都府における農林水産業の人材確保・育成に関する施策を効果的に推進するため、「京都府農林水産業人材確保育成戦略」を令和7年3月に策定しました。

## 目的及び計画期間

農林水産業・農山漁村を支える担い手の減少・高齢化が深刻化する中、魅力ある京都府農林水産業の実現に向けて、今後の育成すべき担い手像を明らかにするとともに、産学公民の多様な主体と連携した推進体制を整備し、分野を横断した効果的な人材確保・育成施策を推進することにより、農林水産業の成長産業化と農山漁村の維持・活性化を図ります。

＜計画期間＞ 令和7年度から令和11年度まで

## 育成すべき担い手像

- 農林水産業の成長産業化を牽引する専門人材
  - ・ 生産から消費までを見据え、様々な経営リスクに柔軟・的確に対応できる高度経営人材
  - ・ 環境変化に対応し、最先端技術を積極的に取り入れ、生産効率を向上できる高度技術人材
- 半農半Xなど様々な形で農林水産業へ関わり、農山漁村を支える多様な人材
- 自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を実現できる人材

## 推進体制の整備

- 農林水産業人材育成センター(仮称)の創設
 

農林水産業の分野を横断し、誘導から研修、就業、経営発展まで、一人一人の希望に寄り添って一貫してサポートを行う司令塔として、人材確保・育成のトータルマネジメントを実施
- 農林水産業人材育成ネットワーク(仮称)の構築
 

産学公民によるネットワークを構築し、農林水産業人材育成センター(仮称)が個々のネットワーク参画主体と連携して、育成すべき担い手のニーズに応じた多様な教育メニューを効果的・効率的に提供

## 育成すべき担い手に寄り添った支援

農林水産業の成長産業化を牽引する専門人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 高度経営人材については、企業や関係団体、大学等と連携し、研修、就業、経営発展の各段階に応じ、経営やマーケティングなど経営力向上に向けた研修を実施</li> <li>・ 高度技術人材については、府農林水産技術センターや民間研究機関、大学等と連携し、試験研究への参画や共同カリキュラムの実施などを通じ、最先端の知識・技術の習得をサポート</li> </ul>
様々な形で農林水産業へ関わり、農山漁村を支える多様な人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 移住関係機関・団体や京都ジョブパーク等と連携し、半農半X志向者や定年帰農者等を対象に、就業支援策等のPRや基礎講座等を実施し、農林水産業へ誘導</li> </ul>
自らの特性を活かし、共に活躍する共生社会を実現する人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 京都府生涯現役クリエイティブセンター等と連携し、子育て世代、女性、障害者等を対象としたリカレント教育や農福連携等の取組への支援を実施し、農林水産業へ誘導</li> </ul>



詳細はコチラ  
(府HP)

経営支援・担い手育成課 新規就業・人材育成係 TEL：075-414-4942

特集  
3

# 「第7次京都府食の安心・安全行動計画」を策定しました

京都府では、京都府食の安心・安全推進条例に基づき、府民の皆様の食の安心・安全の確保に関する施策を総合的かつ効果的に推進するための行動計画を策定しています。

昨年12月に策定した第7次計画(令和7年度～11年度)では、第6次計画の取り組み結果や食を取り巻く情勢を踏まえ、次の「3つの柱」で食の安心・安全確保に取り組んでまいります。

<3つの柱>

- ①生産から消費に至る食品の安全性の確保  
(取組例) 食品衛生法に基づく食品等の収去検査
- ②食品関連事業者の自主的な取組の促進  
(取組例) 食品衛生責任者向けのHACCP研修会開催
- ③消費者への情報提供の充実と相互理解  
(取組例) 食の安心・安全に関するリスクコミュニケーション等の開催



食の安心・安全に関する  
リスクコミュニケーションの様子



詳細はコチラ  
(府HP)

農政課 食の安全・食育係 TEL：075-414-5654

特集  
4

# 「京都府茶業振興計画」を策定しました

国内外における抹茶需要の急増など、京都府茶業をとりまく情勢の変化に対応し、産業や文化と深く結びついた世界に誇る宇治茶ブランドが将来にわたり継承されるよう、茶業振興の基本的な方向や取り組み内容を示し、茶生産者や関係機関・団体の共通の指針とするため、「京都府茶業振興計画」を策定しました。

今後は本計画に基づき、ブランド対策や生産対策などを展開することにより、収益性の高い魅力ある茶業の実現と担い手の確保を図ります。

<計画期間>令和7年度から令和11年度まで



宇治茶の魅力・宇治茶喫茶文化などの発信

他業種との連携による宇治茶文化発信のイメージ

施策の柱	施策方針の例
ブランド対策	玉露・煎茶等の新商品開発・サービス提供による新市場の創出、高級マーケットのニーズに対応する宇治茶の品質確保と認証制度の構築 等
生産・産地対策	各産地の特性に応じた高品質化・省力化のための新技術の開発と導入、宇治茶の産地を支える新たな担い手の確保・育成 等
文化振興・普及対策	宇治茶文化の価値の共感・発信による普及拡大、宇治茶の有形・無形の文化財の保存・活用の推進 等



詳細はコチラ  
(府HP)

農産課 宇治茶・特産振興係 TEL：075-414-4944

特集  
5

# 京都の海の持続可能な発展に向けて 包括連携協定を締結しました

京都府の漁業者は、小型魚の放流や禁漁期間、禁漁区の設定等により、水産資源の保護に努めています。こうした漁業者を支え、水産資源の持続的な利用を図るため、令和6年11月8日（金）に、京都府は海洋環境NGOの（一社）セイラズフォーザシー日本支局（以下、SFS）と包括連携協定を締結しました。

協定に基づく取り組みの第一弾として、資源が豊富で長期的に安定して獲ることができる水産物のリスト「ブルーシーフードガイド」の京都府版を同日に発表しました。今後、ガイドに掲載された持続可能な水産物の消費拡大に向け、情報発信などの取り組みを強化するとともに、漁業者と連携した生産振興を進めてまいります。

また、本協定では、フードテックや海洋環境保全などの課題にも取り組むこととしており、SFSが有する世界的なネットワークを活かし、教育、観光、食文化など幅広い分野においても取り組みを進めたいと考えています。



左：ロックフェラー Jr名誉会長  
右：西脇知事



水産課 漁政企画係 TEL：075-414-4992

特集  
6

# 第2回京のこだわり畜産物 レシピコンテストを開催！

京都の畜産物のおいしさと、「京のこだわり畜産物生産農場」の魅力を知ってもらうために、「京のこだわり畜産物レシピコンテスト」を開催しました。

全国18点の応募の中から、府民のみなさまによる投票や外部委員による審査を経て、5点の入賞作品が決定しました。

最優秀賞となった「京風白みそミルク担々麺」は、京のこだわり畜産物を3種類使用しており、寒い時期に特に食べたいと感じさせる、温かみのある見た目が評価されました。今後も、府内畜産物の魅力向上のための取り組みを続けていきます。



コンテストの結果  
(府HP)



「京風白みそミルク担々麺」

畜産課 畜産振興係 TEL：075-414-4981

特集  
7

## 京都府林業職1day仕事体験を開催！

京都府の林業職員が行っている仕事について理解を深めていただくため、令和6年11月22日(金)に「京都府林業職1day仕事体験」を開催し、府の治山施設の現場見学や先輩職員との座談会等を実施しました。当日は、近畿各地の大学生・大学院生や北桑田高等学校の高校生ら計22名の皆さんに参加いただきました。

参加者からは「自分の興味のある業務内容を具体的に知ることができた」「職場見学や座談会などを通して、京都府林業職員の明るい雰囲気を感じ取ることができた」「他大学の学生と交流することができ、とても有意義であった」などの声もあり、京都府林業職の魅力をPRできました。



先輩職員との座談会



職場見学



木製治山ダム見学

林業振興課 森林政策・流通係 TEL：075-414-5015

特集  
8全国林業大学校対抗伐木選手権を  
京都で開催

令和6年11月15日(金)に「ハピロー！の森 京都」にて、京都府、長野県、岐阜県の3つの林業大学校の学生がチェーンソー等の技術を競う「伐木選手権」を開催しました。

学生同士の交流促進をはじめ、伐木作業についての安全意識や技術・知識の一層の向上、また競い合うことによる将来の林業従事者としてのモチベーション向上を目的として、平成26年から持ち回りで実施しています。

当日は各学校の2年生の代表選手たちが、今まで学んできた伐木技術等のしのぎを削り合いました。

惜しくも京都の総合順位は3位でしたが、切口の方向や深さ、角度の正確さが要求される「丸太の受け口切り競技」において、男子学生が多く参加するなか京都の女子学生が堂々の1位を獲得しました。

学生たちは、今回の経験を活かし、林業への就業を目指して技術の向上に励んでいきます。



3校の集合写真



丸太の受け口切り

京都府立林業大学校 TEL：0771-84-2401

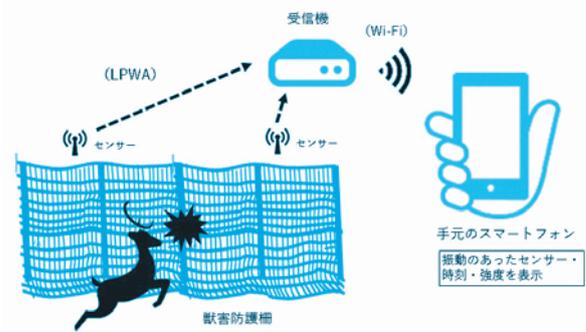
## トピックス

### ICT技術で鳥獣防護柵の維持管理を省力化

有害鳥獣の農地等への侵入を防ぐ防護柵は、府内で総整備延長4,222km(令和6年3月時点)に及んでおり、過疎・高齢化が進む農村地域においては、維持管理の労力が大きな負担となっています。

府では低コストの通信技術を活用し、有害鳥獣の侵入箇所を遠隔で感知できる装置を開発しました。この装置の設置により、柵の破損箇所の見回りの負担軽減や迅速な補修作業による農作物被害の低減が期待されます。

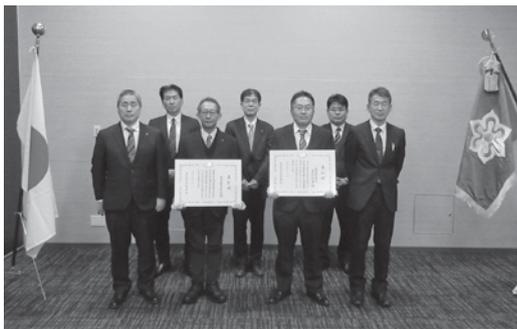
装置の実用化に向け、府内で効果実証を進めており、持続可能な防除体制の構築を目指します。



防護柵の侵入感知装置の仕組み

農村振興課 野生鳥獣係 TEL : 075-414-5022

### 府内の農業委員会・農業委員が3年連続で農林水産大臣表彰を受賞



表彰状伝達式

農地利用の最適化の推進について、顕著な実績をあげられた農業委員会及び農業委員を表彰する農林水産大臣表彰において、宮津市農業委員会と長村信幸氏(八幡市農業委員会)が受賞されました。

宮津市農業委員会におかれては、女性委員の積極的登用や長年にわたり定期的に地域営農の話合いを開催されていることが評価されました。

長村氏におかれては、農業委員会の会長として八幡市地域計画の策定に向けて積極的に取り組まれていることが評価されました。

経営支援・担い手育成課 農地活用係 TEL : 075-414-4902

### シンガポールにて「京もの」試食・試飲会を開催しました

海外における府内産食材の需要拡大のため、令和6年11月17日(日)に、シンガポールにおいて、現地のシェフ、食品バイヤー及びメディア向けに、知事によるトップセールスを行いました。

府内産の野菜や、牛肉、水産物を使った特別メニューに加え、漬物、日本酒、宇治茶などをセットで「京もの」として提供し、府内産品の質の高さと和食の魅力を実感いただきました。

今後も京都の歴史や文化に培われた高い生産技術と品質、ブランド力を活かして、海外における販路開拓を強化し、「京もの」の輸出拡大を図ります。



シンガポールにおける「京もの」試食・試飲会の様子

流通・ブランド戦略課 京もの販路開拓係 TEL : 075-414-4941

## トピックス

## 農作物の高温対策を支援しています

近年、夏期の高温の影響により、多くの農作物で著しい収量減少や品質低下が発生しています。そこで、府内農業者に対して農業用ハウス内の温度を下げるための遮光資材や細霧冷房、ほ場へのかん水を行うためのスプリンクラーなど高温対策につながる設備整備を支援しました。また、現場への導入により効果が期待される高温対策技術等について、府内各地に42の実証ほ場を設け、実証を行いました。

今後も夏期は高温が続くと予測されることから、引き続きハード・ソフトの両面で農作物の高温対策の支援を進めてまいります。



土壌水分目視計を活用した水管理の実証風景

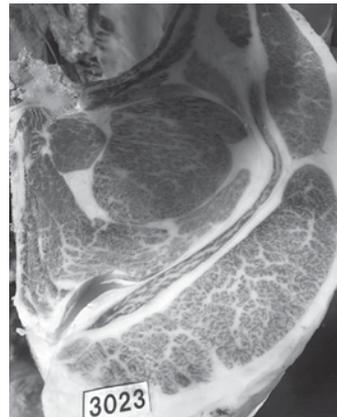
農産課 京野菜振興係 TEL : 075-414-4953

## 第71回近畿東海北陸連合肉牛共進会で最優秀賞を獲得

令和6年11月10日(日)に近畿東海北陸連合肉牛共進会が開催され、(有)京都丹波牧場(南丹市)の出品牛が最優秀賞(農林水産大臣賞)を受賞しました。

70年以上の歴史がある本共進会は、6府県(京都、滋賀、兵庫、三重、岐阜、静岡)が参加しています。

神戸ビーフ、松阪牛、近江牛、飛騨牛など名だたる銘柄牛が出揃う国内屈指の品評会で、京都府内生産者の最優秀賞受賞は2年連続となり、肥育技術の高さを示すことができました。



最優秀賞を受賞した枝肉  
(有)京都丹波牧場出品牛

畜産課 畜産振興係 TEL : 075-414-4981

## 太平洋くろまぐろの府内漁獲枠の増枠が決定

令和6年12月の国際会議で、令和7年以降における太平洋くろまぐろの国内漁獲枠が正式決定され、小型魚<sup>\*1</sup>では1.1倍、大型魚<sup>\*2</sup>では1.5倍に増えました。

これを受けて、来年度における府内漁獲枠は、小型魚で48.9t(今年度比2.25倍)、大型魚で46.2t(同1.92倍)となりました。

府としては、引き続き漁業者と連携して資源管理に取り組むとともに、配分された漁獲枠を最大限活かし、漁業者の所得確保につなげていけるよう、個々の漁業経営に応じた支援や販売促進に努めてまいります。

※1 : 体重30kg未満 ※2 : 体重30kg以上



舞鶴市場に水揚げされたクロマグロ

水産課 漁政企画係 TEL : 075-414-4992

## シリーズ 農林水産技術センターの研究紹介

第21回

令和6年度に取り組んでいる研究をご紹介します

## 生物資源研究センター、農林センター

## 研究1 黒大豆枝豆「京 夏ずきん」が新品種に切り替わります

ブランド京野菜「京 夏ずきん」は、丹波黒大豆から生まれた夏限定の枝豆ですが、収穫適期が短い  
ため、大規模栽培では収穫が遅れ、品質低下を招く  
ことがありました。

そこで、従来品種に比べ収穫適期の期間が2倍に、  
さらにはウイルス抵抗性を持つ新品種を開発しました。

現地試験での結果は食味・莢の色ともによく、生  
産者や市場関係者の評価も上々でした。今年はいよ  
いよ新品種へと切り替わるので、ぜひ暑い夏のビー  
ルのお供として、新しくなった「京 夏ずきん」  
をご賞味ください。



新品種普及チームが栽培状況を確認



農林水産技術センター 生物資源研究センター 応用研究部 TEL：0774-93-3527

## 研究2 京都府オリジナル米品種「京式部」の栽培方法を検証

高温耐性を持ち良食味である「京式部」は、収量・  
品質を安定させるため、農薬や化成肥料の使用量、  
乾燥手順など栽培や出荷調製の方法を厳格に定めて  
います。

これまで「京式部」の品種特性から田植え時期は  
5月下旬が最適とされ、その条件で収量や品質が最  
も向上する栽培方法を追求してきましたが、生産量  
拡大に向けては、他品種との競合に配慮しつつ、田  
植え時期を拡大する必要があります。

そこで、5月上旬に田植えを行い、肥料の量、施  
用時期と苗の植付け間隔について様々な組合せを比  
較し、作期拡大しても収量や品質を維持できる栽培  
方法を検証しています。

施肥量や植付け間隔を様々な  
組み合わせた試験区を設置

農林水産技術センター 農林センター 栽培技術開発部 TEL：0771-22-6492

# 地域の取組

## 京都乙訓

### 京都乙訓地域で農福連携を推進

農福連携とは、障害者の農業分野での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を促す取り組みのことで、農業者にとっても労働力の確保や農作業の見直し・分業化による経営力の向上が期待できます。

京都乙訓地域では農地が限られていることもあり、福祉施設が新たに農業を始める形とは別に、野菜の選別や袋詰めといった農作業の一部を福祉施設が請け負う形が新たに広がりつつあります。

京都乙訓農業改良普及センターでは、こうした活動を推進するため、農業者との協同による障害者のための農作業のマニュアル作成のほか、関係機関と連携して農業者と福祉施設とのマッチング支援にも取り組んでいます。



福祉施設の職員向けに農作業の説明会を開催

京都乙訓農業改良普及センター TEL : 075-315-2906

## 山城

### 大学生が山城地域の魅力をInstagramで発信！

山城広域振興局では、観光誘客に向けたプロモーションとして、地域ならではの魅力を体験できるスポットやアクティビティを京都の大学生が取材・体験し、Instagramで発信しています。お茶体験やカヌー体験、地域の食を味わえる「食の京都TABLE」などのスポットを紹介するほか、地域を巡る観光モデルコースも紹介しています。大学生からは「古都京都とは違った魅力がたくさんあるので、ぜひ訪れてみてほしい」などの声がありました。

大学生の投稿は、お茶の京都DMOのInstagramアカウントで再投稿しているほか、紹介スポットをまとめたパンフレットも府内観光案内所等にて5月頃に配布を予定していますので、ぜひ手にとってご覧ください。

大学生による  
取材の様子



カヌー体験



石臼挽体験



お茶の京都DMO  
Instagram

山城広域振興局 農林商工部 農商工連携・推進課 TEL : 0774-21-2103

## 山城

### 山城地域特産物の高温対策や盗難対策を実施

山城北農業改良普及センターでは、高温・干ばつの影響を受けやすい九条ネギ、ナス、水稻の3品目について、高温対策の実証活動を行いました。

特に九条ネギは、夏期の高温乾燥で生育遅延や生育障害が発生し、9月～11月の収量が大幅に減少することが課題となっていたため、JAと協力しながら実証ほ場を設置して、有望な品種と、それに適した肥培管理について生育状況や収量等の調査を行いました。

また、管内で発生していた九条ネギなどの盗難対策として、防犯対策会議への参加や注意喚起のメール配信、農林水産業経営改善支援事業による防犯カメラの設置等を推進しました。

普及センターは、今後も農業者に寄り添いながら、地域特産物の生産支援に向けた対策に取り組めます。



定植 1 か月後の生育調査風景

山城広域振興局 農林商工部 山城北農業改良普及センター TEL : 0774-62-8686

## 南丹

### “移住”で亀岡市・南丹市・京丹波町を盛り上げる 京都丹波地域の「京の田舎ぐらしナビゲーター」が活躍

京都丹波地域では、“地域へ移り住む方”と“受け入れる地域”の架け橋となって、農村地域の移住・定住をサポートする「京の田舎ぐらしナビゲーター」（地域からの推薦を受け京都府知事が任命）が活躍しています。

その数は、府内最多となる約60名で、移住を希望する方をそれぞれの地域に案内するなど支援を行うとともに、受け入れ地域の意識向上など盛り上げに尽力されています。

ナビゲーター活動の様子は、ナビゲーター通信「里の風～一緒に暮らそう京都丹波～」にて発信していますので、下記の二次元コードよりぜひご覧ください。



移住を希望する方に田舎ぐらしのアドバイスに加え実際に地域や空き家を案内



研修会や交流会を通じてナビゲーター間で情報・意見交換



里の風  
～一緒に暮らそう京都丹波～

南丹広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 TEL : 0771-22-0153

## 中丹

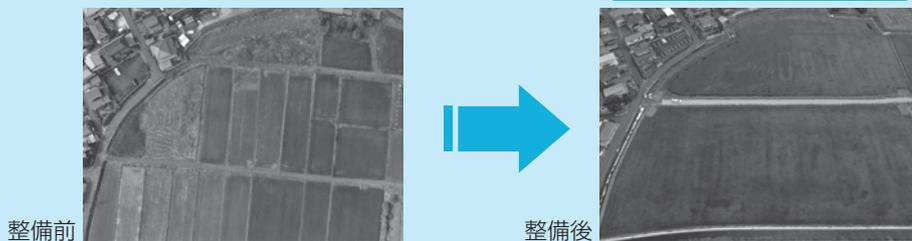
## ほ場整備事業「下位田地区」の整備工事が完了

綾部市位田町の下位田地区で進めてきた、ほ場整備工事が令和7年3月に完了しました。本地区は綾部市西部、由良川沿岸に位置する約10ヘクタールの水田地域です。ほ場の大区画化や農道等の整備により大型農業機械が導入できるなど、より効率的な営農が可能となりました。

本地区のほ場整備では、農地中間管理機構関連農地整備事業の活用により、担い手への農地集積が円滑に進められました。また、営農の効率化により生み出された時間を活用し、もち米等農作物の加工・販売が促進されるなど、担い手の所得向上にも貢献しています。

現在、管内3市で府営ほ場整備事業を進めていますが、優良農地の確保と安定的な農業経営の実現に向け、一層の事業推進を図ってまいります。

大区画ほ場となった下位田地区



中丹広域振興局 農林商工部 地域づくり振興課 TEL：0773-62-2574

## 丹後

## 林業従事者向けICT体験会を開催しました

林業現場の担い手不足解消や労働災害発生時の迅速な対応のため、令和6年12月5日(木)に丹後管内の林業事業者や市町職員等を対象に「林業ICT体験会」を開催しました。

当日は43名の参加者が見守る中、急斜面の尾根付近の造林地まで、約15kgの資材をドローンで運ぶ実演や、重大事故が発生した際、携帯電話の電波状態が悪い林内でも緊急連絡が事務所に自動送信される緊急通信システムの実演を行いました。参加者からは「これまで非常に苦労していた重たい荷物をドローンで運ぶことに驚いた」、「作業員の状況が事務所でも分かるので安心できる」などの声がありました。

今後も、低コストで省力的な林業と林業従事者の労働環境向上に向け、引き続き支援していきます。



ドローン運搬の実演



SOS時の実演

丹後広域振興局 農林商工部 森づくり振興課 TEL：0772-62-4306

シリーズ 府内各地の「いちおしの食」を味わおう！  
「食の京都TABLE」を紹介します ～第2回～



あやべ特産館  
(綾部市)

～食の京都TABLEとは～

食の魅力を生かした観光誘客の拠点として、農林水産物直売所や道の駅など府内23施設を選定・PRしています

綾部を訪れる観光客に人気の「あやべ特産館」は、JR綾部駅から徒歩10分、綾部ICから車で5分の「あやべグンゼスクエア」の一角にあります。

野菜や加工食品、菓子、酒類、お弁当、工芸品など、地元綾部を中心に京都府中北部エリアのバラエティ豊かな特産品を多数扱っているのが特徴で、訪問するたびに新しい発見があります。

地域の海や森、里の素材を生かした中丹地域ならではの魅力的なお土産品として、中丹広域振興局が選定した「京都中丹いちおし商品」も豊富に揃っています。



併設のカフェコーナー「綾茶café」は「コーヒーがないカフェ」。  
綾部産の玉露を自分でいれる体験や、地域の素材を使ったパフェなど季節のスイーツが楽しめ、綾部産のお茶を満喫できます。抹茶ラテなどのドリンクをテイクアウトして隣接する「綾部バラ園」を散策するのもおすすめです。

近隣の観光地の情報も発信しているので、ここを起点に中丹～丹後をドライブで巡るのもいいですね。春秋の「バラまつり」など様々なイベントも開催しています。最新情報はInstagramやFacebookでご確認ください。

あやべ特産館  検索



食の京都TABLE(府HP)

流通・ブランド戦略課 ブランド戦略係 TEL: 075-414-4941

特選(農林水産大臣賞)



尾崎 愛奈さん  
亀岡市立安詳小学校1年

令和7年用 国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクール  
府内小学生が農林水産大臣賞を受賞

公益社団法人国土緑化推進機構主催の、令和7年用国土緑化運動・育樹運動ポスター原画コンクールにおいて、府内小学生の作品1点が農林水産大臣賞を受賞された他、3点が入選されました！5月25日(日)に埼玉県で開催される第75回全国植樹祭において表彰されます。

入選(国土緑化推進機構理事長賞)



- 左) 竹下 翔弥さん  
綾部市立豊里小学校4年
- 中) 赤井 美友さん  
京都市立上京中学校3年
- 右) 小澤 空翔さん  
京都府立向日が丘  
支援学校高等部3年

森の保全推進課 モデルフォレスト推進係 TEL:075-414-5005

京都で学ぶ 農林水産業

あなたの未来がここから始まる



京都府には、農林水産業の未来を担う人材を育成する研修教育機関があります！  
自然と共に学び、未来を創るチャンスを掴みませんか？さあ、あなたの夢を京都で実現しよう！



京都府立  
農業大学校



京都府立  
林業大学校



京都府漁業者育成校  
海の民学舎



YouTube  
各大学の  
紹介動画はコチラ！

発行/令和7年3月  
編集/京都市上京区下立売通新町西入敷ノ内町 京都府農林水産部農政課  
TEL: 075-414-4898 E-mail: nosei@pref.kyoto.lg.jp

\*京都府人権啓発イメージソング「世界がひとつの家族のように」は、「お互い支え合うことの大切さ」をイメージした歌です。  
歌い広め、「いま、わたしたちにできること」を考えてみませんか。

公式HPから視聴ができます▶

